

クリウムバニー 300 ぶんぶつとおし新作公演

『ニューーユーーユーー』

日時：2014年5月17日(土) 15:00 - 20:00 (時間区分 15:00 / 16:15 / 17:30 / 18:45)

2014年5月18日(日) 13:00 - 18:00 (時間区分 13:00 / 14:15 / 15:30 / 16:45)

会場：シアターラム (世田谷区太子堂 4-1-1 世田谷パブリックシアター)



ふみこむ。こむ。こむ。まよいこむむむ。
むきだしたら、いーんじゃないの？
むいて、はいて、さらして。してして。
ヌーん、がしゃん。
ヌーん、がしゃん。
大量生産。量産兵器。わたしはヘーキ。
へつきめんくつずれったらアアア・・・
いっしょになれるよ、たぶーん。
なので、ぼくは、ボウケンに出るによだ。

クリウムバニー待望の最新作

ダンサーで振付家の菅尾なぎさが、妄想的視点(=男子)およびラプリー視点(=女子)から創り出す女性の身体の魅力や動きを表現することを目的に、2005年に設立された女性だけのダンスカンパニー「クリウムバニー」。

2年ぶりとなる劇場新作公演「ニューーユーーユーー」を、2014年5月17日(土)・18日(日)の2日間、世田谷シアターラムで開催いたします。

本公演は300分。群舞によるアトラクシオンの空間で4回行われる構成になっており、自らの滞在時間を選択して、来場者はその空間に参加することが出来ます。

この新作を通して、菅尾は繰り返しによって生まれる物理空間や時間のズレと、そこから生まれるリアルをダンサーを使ってポップに描き出す一方で、来場者の五感を刺激しながら、ダンサーと来場者双方の身体の主体性を問い直します。

また本公演では、旧式のオープンリール式磁気録音機を現代のコンピューターとドッキングさせ、精密かつ大胆なパフォーマンスで世界中を熱狂させているOpen Reel Ensemble(オープンリールアンサンブル)が参加。クリウムバニーとともにパフォーマンス空間の中でライブ演奏を行います。本公演の為に書き下ろした音源も披露します。

公演情報

【タイトル】

クリウムバアニー 300 ぶんぶつとおし新作公演 『ニュー---ユー---ユー---』

【会場】

シアター tram : 東京都世田谷区太子堂 4-1-1 世田谷パブリックシアター tel. 03-5432-1526

【公演日程】

2014年5月17日(土) 15:00~20:00 (時間区分 15:00 / 16:15 / 17:30 / 18:45)

2014年5月18日(日) 13:00~18:00 (時間区分 13:00 / 14:15 / 15:30 / 16:45)

※受付開始 30 分前・ロビー開場 15 分前 各回入替制

ご購入いただいたチケットの入場時間、時間区分によってご覧いただく区分が異なります。

各区分ごとに入替制となっておりますので、会場では係員の指示をご確認ください。

【チケット】

取扱い ・クリウムバアニー・オンライン www.crewimburnny.net

・世田谷パブリックシアターチケットセンター tel. 03-5432-1515

劇場オンラインチケット(要事前登録) [PC] <http://setagaya-pt.jp/> [携帯] <http://setagaya-pt.jp/m/>

料金

	1 区分 (75 分)	2 区分 (150 分)	通し (300 分)
前売	3,500 円	6,000 円	12,000 円
友の会会員割引	3,200 円	5,700 円	11,700 円
せたがやアーツカード会員割引	3,300 円	5,800 円	11,800 円

※300 分チケットのみ、途中入退場可。

※整理番号付きチケット、入場は整理番号順になります。

※友の会および、せたがやアーツカード会員割引は、世田谷パブリックシアターチケットセンターで前売のみの取扱いとなります。(店頭・電話・オンライン)

【車椅子スペースのご案内】(定員あり、要予約)

一般料金の 10% 割引(介添者 1 名まで無料)

申込: 劇場チケットセンター 03-5432-1515 (10:00 ~ 19:00) ご利用希望日の前日まで。

【託児サービスのご案内】(定員あり、要予約)

料金: 2,000 円 (対象: 生後 6 ヶ月以上 9 才未満 ※障がいのあるお子さまについてはご相談ください。)

申込: 世田谷パブリックシアター 03-5432-1526 ご利用希望日の 3 日前の正午まで。

振付・演出: 菅尾なぎさ

出演: 阿竹花子 金子あい 佐藤想子 高嶋豊加
丹野晶子 菅尾なぎさ 神田彩香 桑原史香
島田桃子 高野萌 長谷川宝子

音楽・ライブ: Open Reel Ensemble

舞台監督: 鈴木康郎 舞台美術: 佐々木文美(快快)

照明: 上田剛 照明協力: ドットワークス

音響: 吉武奈津子 音響協力: WHITELIGHT Ltd.

衣裳: 西岡七歩子

グラフィックデザイン: 山野英之(高い山)

WEB: 山本照実

[主催] クリウムバアニー

[企画・プロデュース] ルフトツーク

[企画協力] 西中川京

[制作] 小原光洋

[制作協力] 志村知晴

[協力] (株) ソニー・ミュージックアーティスト

塚口麻里子 高石陽二

[提携] 公益財団法人せたがや文化財団

世田谷パブリックシアター

[後援] 世田谷区

※本公演に関するご取材、写真、画像データご希望の際は

下記までご連絡ください。

[プレスに関するお問い合わせ先]

デイリープレス 山本真澄 masumiyamamoto@dailypress.org

tel. 03-5771-7277 携帯 .090-4062-6361

www.crewimburnny.net

www.facebook.com/crewimburnny

[twitter@crewimburnny](https://twitter.com/crewimburnny)

【出演者プロフィール】

クリウイムバニー Crewimburnny

ダンサーで振付家の菅尾なぎさが、妄想的視点（=男子）およびラブリー視点（=女子）から作り出す女性の身体の魅力や動きを表現することを目的に、2005年に設立された女性だけのダンスカンパニー。

2005年『愛妓ハンパーク』（森下スタジオ）で旗揚げ公演を行って以降、『モボモガモグモグ』（2006、BankART「横浜ダンス界限番外編」）、『贅沢ラム』（2008、吉祥寺シアター&神戸アートビレッジセンター KAVC ホール）、『遊覧型ばふおーまんす!! がムだムどもども』（2011、世田谷シアター tram）などを発表し、大きな反響を得る。

その作品には、ふたつの視点の交錯点で生み出される夢と現実、妄想と虚構が描かれ、菅尾ならではのポップでクリティカルな感性と表現によって現代日本の世相が鋭く映し出され、異彩のコンテンポラリーダンスカンパニーとして国内外の注目を集めている。

また、同時代の異なる表現形式を持つアーティストとも数多く競演、協働し、『HORS PISTES TOKYO "Bestiaire"』（2012、原美術館）、『EPPA (the encounter with provogative performing arts presented by Luftzug) PANCAKE』（2013、横浜象の鼻テラス、TPAM 参加作品）他においてメインパフォーマーとして参加している。



主要メンバー

菅尾なぎさ（主宰、ダンサー、振付家）

東さくら（ダンサー）

阿竹花子（ダンサー）

金子あい（ダンサー）

佐藤想子（ダンサー）

高嶋豊加（ダンサー）

丹野晶子（ダンサー）

松浦羽伽子（ダンサー）

松崎有莉（ダンサー）

遠藤豊（プロデューサー）

<http://crewimburnny.net/>

クリウイムバニー主宰：菅尾なぎさ（ダンサー・振付家）

1996年 London Studio Centre（バレエ、ジャズダンス、コンテンポラリーダンス）卒業。1999年より自身主宰のカンパニーでの活動をはじめ。同年、イデビアン・クルー公演『コッペリア』に出演し、現在までほぼ全ての作品に参加。2005年クリウイムバニーを立ち上げる。

活動歴

イデビアン・クルーのクルーとして『アレルギー』（2002）、『麻痺引き出し嫉妬』（2013）等の公演、椎名林檎のライブや東京事変、星野源のMVに出演する他、ソロ、ユニットでも活動。他ジャンルのアーティストとの競演、協働も多く、劇団青年座『ブンナよ木からおりてこい』（2006）、ASA-CHANG&巡礼『新・アオイロ劇場』（2012）をはじめ、MVやCM、パフォーマンス、演劇の振付け、演出でも活躍している。



代表作

『愛妓ハンパーク』（2005、森下スタジオ）

『贅沢ラム』（2008、吉祥寺シアター&神戸アートビレッジセンター KAVC ホール）

『ありえるとまや』（2008、六本木ヒルズアリーナ）

『遊覧型ばふおーまんす!! がムだムどもども』（2011、世田谷パブリックシアター）

『HORS PISTES TOKYO "Bestiaire"』（2012、原美術館）

『EPPA・PANCAKE』（2013、横浜象の鼻テラス、TPAM 参加作品）ほか。

<http://sugaonagisa.com/>

Open Reel Ensemble（オープンリールアンサンブル）



2009年より、和田永を中心に佐藤公俊、難波卓己、吉田悠、吉田匡が集まり活動開始。

旧式のオープンリール式磁気録音機を現代のコンピュータとドッキングさせ、「楽器」として演奏するプロジェクト。リールの回転や動作を手やコンピュータで操作し、その場でテープに録音した音を用いながらアンサンブルで音楽を奏でる。その不思議な音色と楽曲性は高く評価され、国内外でのLIVEやCM音楽制作、REMIXなども行い、メディアアートと音楽の双方からいま最も注目を集める存在である。2013年3月にBOOK+DVD「回典 ~En-Cyclepedia~」を学研から出版。松岡正剛、大友良英、菊地成孔、宇川直宏、zAk、高木正勝など錚々たるメンバーとの対談をはじめ、“Open Reel Ensembleの進化系” Open Reel Orchestra “を提唱。『HARAJUKU PERFORMANCE +.』で披露した。 <http://www.steamblue.net/>